「令和3年度小学校教科担任制推進に係る取組状況」 を基に作成

## ①高学年の教科担任制(学級担任間の交換授業)導入の概要

※推 進…小学校教科担任制推進教員

年 組	担任	国語	社会	算数	理科	音楽	図工	家庭	体育	外国語	指導に関わる 教員数
5年	A先生				_	Α	Α	А	А	А	4
6年1組	B先生	推進	C	В	Α	В	В	推進	В		4
6年2組	C先生					С	С	推進	С		4

※太線囲みは学級担任間の交換授業

▶ 高学年教員の異動がなかったため、昨年度の実績を踏まえ、取組を継承・深化できるよう、担当する教科を継続。

## ③日課表作成のポイント

- ▶ 月曜1限目は全クラスとも学活とし、場合によっては高学 年合同での指導が可能となるよう工夫。
- ▶ 他の曜日も1限目が担任の授業になるよう配慮。
- ▶ 空き時間が特定の曜日に集中しないよう配慮。

## ②担当教科数と週当たりの空き時間数

	担当教科数	空き時間数(週当たり)
A先生	6	7
B先生	4	6
C先生	5	6
推進	2	9

※担当教科数は、総合的な学習の時間、学活、道徳を除く。



## ④円滑な導入へのポイント



- 職員会議後、定期的に高学年部会を実施。
- ▶ 授業中の子どもの様子で気になることがあった時には、随時情報交流を実施。
- 高学年通信を作成し、保護者に教科の進度や準備物を周知。
- ▶ 高学年通信を中学校にも送付し、小中の交流を促進。